



ホームステイ Q&A



Q 受け入れまでの流れは、どんな感じですか？

A ホームステイ実施が近くなりましたら、教区内の全寺院にホストファミリー募集をお送りしています。お申し込んだホストファミリーと、参加申込をいただいた福島のご家族の組み合わせを、主催者である「原発に依存しない社会の実現を目指す委員会」にて決定し、すぐにホストファミリーにお知らせします。このときに、福島のご家族の代表者の連絡先をお知らせいたしますので、ホストファミリーから福島のご家族に電話連絡をしてもらい、日程中の過ごし方などについて事前にしっかりと話をいただいた上で当日を迎えます。

Q 受け入れにはどんなお部屋を用意したらいいですか？

A 開催当初から現在にいたるまで、特段「こういうお部屋で」ということは決まっておりません。今は使われていない空き部屋だったり、離れや客間といったケースが多いようですし、近所の門徒宅を一緒にお借りするなど、受け入れられるホストファミリーによってさまざまです。

Q 日程中の移動手段はどうしたらいいでしょうか？

A 自家用車を利用されたり、公共交通機関（電車・バスなど）を利用したり、その両方を組み合わせて移動する場合など、状況によりご検討いただければと思います。

事前に主催者側から、それぞれのホストファミリーに移動手段の聞き取りを行い、福島から来られる方の家族構成を考慮して、たとえば、小さなお子さんがある場合は、自家用車で移動可能なホストファミリーに受け入れていただくなど、可能な限り無理のない組み合わせを考えます。

Q 福島から来られるので、「精一杯おもてなしをしなければ」と思いますが、食事や外出など費用の負担が…。

A 確かに、一緒に食事や外出をするとすると、福島から来られる方から食事代や観光にかかる費用をいただいたりするのは気が引けるというのが現実かもしれません。このことを考慮して、受け入れを行っていただくホストファミリーには、若干ですが、経費の補助を行っています。また、「ホームステイ」であり、お客様ではないので、すべておもてなしするのではなく、日程中にかかる費用は原則参加者に自己負担していただくよう、参加者募集要項に明記しております。

Q お参りやお寺の行事があって、受け入れても十分にお構いができそうにないのですが。

A ホストファミリーによっては、4泊5日の日程中全部を福島のご家族と行動をとるのではなく、そのほとんどは、自由にお出かけしていただくということもあります。むしろそのほうが福島のご家族も気兼ねなく過ごせたというケースもあるようです。事前に福島のご家族の方と日程中の過ごし方についてよくご相談いただければと思います。

お寺の行事などがある場合は、福島のご家族も一緒に参加されたり、門徒さんと一緒に過ごしてもらったりという場合もあるようです。

